

授業概要（シラバス）

＜作業療法学科 Ⅰ 学年＞

2025年度

学校法人 君津あすなろ学園
千葉医療福祉専門学校

2025年度 作業療法学科 開講科目一覧

1 学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	心理学	通年	2	60
	情報コミュニケーション学Ⅰ	前期	1	30
	情報コミュニケーション学Ⅱ	後期	1	30
	情報コミュニケーション学Ⅲ	前期	1	15
	基礎数理学	通年	2	30
	健康と身体	通年	1	30
	社会福祉概論	後期	1	30
	医学用語	通年	1	30
	公衆衛生学	後期	1	15
	総合演習Ⅰ	通年	1	30
専門基礎分野	人体の構造Ⅰ	前期	1	30
	人体の構造Ⅱ	後期	1	30
	人体の構造Ⅲ	前期	1	30
	人体の構造Ⅳ	後期	1	30
	人体の機能Ⅰ	前期	1	30
	人体の機能Ⅱ	後期	1	30
	運動学Ⅰ	後期	1	30
	リハビリテーション医学Ⅰ	後期	2	30
	病理学	後期	1	15
	救急救命法	通年	1	30
	リハビリテーション概論Ⅰ	通年	2	60
専門分野	作業療法概論	通年	2	60
	基礎作業学	通年	2	60
	地域リハビリテーション	後期	1	15
	職業リハビリテーション	通年	1	15
	見学実習	通年	1	45
26科目			32	単位

2 学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	人間発達学	前期	1	30
	総合演習Ⅱ	通年	1	30
専門基礎分野	人体の構造実習	通年	1	30
	人体の機能実習	前期	1	30
	運動学Ⅱ	前期	1	30
	運動学Ⅲ	後期	1	30
	運動学実習	後期	1	30
	運動生理学	前期	1	15
	リハビリテーション医学Ⅱ	後期	1	15
	内科学	通年	2	60
	運動器病態学	通年	2	60
	臨床神経学	前期	2	60
	精神医学	通年	2	60
	臨床心理学	前期	1	30
	リハビリテーション概論Ⅱ	通年	2	60
専門分野	作業療法評価学Ⅰ	前期	1	30
	作業療法評価学Ⅱ	後期	1	30
	作業療法評価学Ⅲ	後期	1	30
	作業療法評価学Ⅳ	前期	1	15
	作業療法評価学実習Ⅰ	前期	1	30
	作業療法評価学実習Ⅱ	後期	1	30
	作業療法評価学実習Ⅲ	後期	1	30
	発達領域作業療法学Ⅰ	前期	1	20
	日常生活関連活動学	通年	3	60
	生活支援環境学	後期	1	15
	地域リハビリテーション実習	後期	1	45
	地域リハビリテーション実習演習	後期	1	15
27科目			34	単位

3 学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	総合演習Ⅲ	通年	1	30
専門基礎分野	リハビリテーション医学Ⅲ	通年	2	30
専門分野	作業分析	通年	2	60
	作業療法研究法	後期	1	15
	作業療法管理学	前期	2	30
	発達領域作業療法学Ⅱ	通年	2	40
	整形疾患作業療法学	通年	3	60
	精神疾患作業療法学	通年	3	60
	老年期疾患作業療法学	通年	3	60
	中枢神経疾患作業療法学	通年	3	60
	作業療法技術論	通年	1	30
	義肢装具学	後期	2	30
	地域作業療法学	通年	2	30
	臨床評価実習	通年	9	360
その他	臨床評価実習Ⅰ	通年	1	30
	臨床評価実習Ⅱ	通年	1	30
16科目			38	単位

4 学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
専門分野	臨床総合実習	前期	17	680
その他	臨床総合実習演習	通年	1	30
	総合演習Ⅳ	通年	5	175
	卒業研究	通年	2	60
4科目			25	単位

OTI年		通年	講義概要	一般目標
基礎分野			「自分を知る、他人を読む」、心理学の諸分野について基本的な理論を学び、自己を客観的に見る力と他人の行動を理解する力を身につける。	・実習を通じて体験的に学び、客観的なデータを元に自己像を知ることができるようになる。
心理学				
(※ 前期15回)				
2単位		30回		
非常勤:渡辺馨 作業療法学科:隈部智之 理学療法学科:小林好信				
	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	心理学とは何か?		どうして心理学を学ばなければならないのか、臨床や他者理解、治療を実例に学習し、その必要性を理解してもらう。	
2	心理学と諸分野:行動経済学		心理学の基礎となる確率、統計について、行動経済学の実例を元に学習し、確率的な思考、科学的思考について理解し、心理学の方法論を利用できるようにする。	
3	性格心理学 ジョハリの窓演習		性格の心理学的定義を理解し、臨床場面において他者を理解する道具として使えるようにする。	
4	性格の理論:類型論と特性論、心理アセスメント		性格理論について学習し、類型論、特性論を理解できるようにする。心理アセスメントについて学習し、心理検査の種類、内容を理解できるようにする。	
5	性格検査 質問紙法 エゴグラム演習		性格検査についてエゴグラムを用いて実習し、質問紙法性格検査を分析できるようにする。	
6	性格検査 質問紙法 エゴグラム演習		性格検査についてエゴグラムを用いて実習し、質問紙法性格検査を分析できるようにする。	
7	性格検査 質問紙法 エゴグラム演習		性格検査についてエゴグラムを用いて実習し、質問紙法性格検査を分析できるようにする。	
8	性格検査 投影法 バウムテスト演習		性格検査についてバウムテストを用いて実習し、投影法性格検査の内容を理解できるようにする。	
9	性格検査 投影法 バウムテスト演習		性格検査についてバウムテストを用いて実習し、投影法性格検査の内容を理解できるようにする。	
10	性格検査 投影法 バウムテスト演習		性格検査についてバウムテストを用いて実習し、投影法性格検査の内容を理解できるようにする。	
11	心理アセスメント		心理アセスメントについて学習し、心理検査の種類、内容を理解できるようにする	
12	生理と心理 ストレスとコーピング		ストレスの仕組み、コーピングについて学習し、ストレスの仕組みを理解する。	
13	生理と心理 ストレスとコーピング		ストレスの仕組み、コーピングについて学習し、ストレスの仕組みを理解する。	
14	生理と心理 ストレスとコーピング		ストレスの仕組み、コーピングについて学習し、ストレスの仕組みを理解する。	
15	生理と心理 ストレスとコーピング		ストレスの仕組み、コーピングについて学習し、ストレスの仕組みを理解する。	
教科書・参考書・資料				
青木智子 医療と健康のための心理学 北樹出版				
判定基準/割合			履修上の留意点	
前期レポート 後期試験 授業中の提出物による平常点			授業では実習、実験、グループディスカッションなどの方法を用いることが多いので、遅刻等ないように留意すること。	

OT1年		通年	講義概要	一般目標
基礎分野			「自分を知る、他人を読む」、心理学の諸分野について基本的な理論を学び、自己を客観的に見る力と他人の行動を理解する力を身につける。	・実習を通じて体験的に学び、客観的なデータを元に自己像を知ることができるようになる。
心理学				
(※後期15回)				
2単位		30回		
非常勤:渡辺馨 作業療法学科:隈部智之 理学療法学科:小林好信				
項目			この講義で学ぶこと・行動目標	
16	前期レポート講評		レポートを講評することで、医療現場における科学的で読みやすいレポートの書き方について学習する。	
17	動機・欲求・情動		動機・欲求について実例に基づき学習する。	
18	防衛機制・転移逆転移		防衛機制の定義、実例を学習し、防衛機制の種類、それぞれの定義、転移逆転移、について理解する。	
19	記憶とその種類		記憶について学習し、記憶の種類、構造について理解する。	
20	記憶とその種類		記憶について学習し、記憶の種類、構造について理解する。	
21	学習・行動		学習理論について学習し、学習の種類、構造について理解し、学習による行動の変容を理解できるようにする。	
22	感覚・知覚・認知		感覚・知覚・認知についてその定義を理解し、人の認知処理を理解できるようにする。	
23	感覚・知覚・認知		演習により認知機能について理解する	
24	心理アセスメント:知能		心理アセスメントのうち、知能に関する検査を実習し、知能についての定義、知能検査の種類について学習する。	
25	心理アセスメント/発達		心理アセスメントのうち、発達に関する検査を実習し、発達検査の種類について学習する。	
26	心理アセスメント/発達		心理アセスメントのうち、発達に関する検査を実習し、発達検査の種類について学習する。	
27	発達心理学		発達について、子ども～青年期のケースを中心に学習し、エリクソンの心理社会的発達理論を理解する。	
28	発達心理学		発達について、中年期～老年期のケースを中心に学習し、エリクソンの心理社会的発達理論を理解する。	
29	まとめと振り返り		これまでの授業を総括し「自分を知る、他人を読む」心理学上の理論を再学習する。	
30	後期試験		成績評価のための試験を実施する。	
教科書・参考書・資料				
青木智子 医療と健康のための心理学 北樹出版				
判定基準／割合			履修上の留意点	
前期レポート 後期試験 授業中の提出物による平常点			授業では実習、実験、グループディスカッションなどの方法を用いることが多いので、遅刻等ないように留意すること。	

OTI年		前期	講義概要	一般目標
基礎分野			「学校生活の規則やルールを知る。また学生同士のコミュニケーションを図ることで親睦を深める。」ということを通じて学生生活また社会人における必要な能力を学びます。 さらに4年間の学び方に関する内容に加え、自身の学ぶ姿勢・方法を確立していきます。	・学校生活を送るうえで自分に必要な準備や行動を理解して実践できる。 ・学びに必要なことを理解し、実践できる。 ・学びに必要なことをどのように実践していくか、自身の方法を獲得する。
情報コミュニケーション学Ⅰ				
Ⅰ単位	Ⅰ5回			
作業療法学科:原悠平 武井亜由美, 早川るみこ				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	学生便覧読み合わせ・オリエンテーション【原】		学生便覧を確認し、学校規則について理解する。	
2	図書室利用法【原】		図書室の利用方法について理解する	
3	学年親睦会 ☆【原】		親睦会を通して、学科を超えて同学年の学生全員と適切なコミュニケーションを図る	
4	学年親睦会【原】		親睦会を通して、学科を超えて同学年の学生全員と適切なコミュニケーションを図る	
5	オリエンテーション【原】		学生生活を送るうえで必要な準備や方法について理解する。学生生活を送るうえで必要なルールを理解し、円滑な学生生活につなげることができる。	
6	社会人基礎力とは【武井】☆		社会人基礎力とは何かを学び、自身の社会人基礎力を知ることができる	
7	ノートテイキング【早川】☆		学習をすすめる上で、アウトプットを意識したノートの作成ができる	
8	文章の書き方【早川】		文章を書く基礎的な知識についての確認と実践ができる	
9	感染予防対策について【武井】		医療者として必要な感染予防対策について理解する	
10	協同学習【原】		協同学習の目的・方法を理解し、実践できる	
11	協同学習 ☆【原】		協同学習の目的・方法を理解し、実践できる	
12	医療スタッフとは【原】		医療者として何が必要な力・能力・人間力などについて理解を深める(グループワーク方式)	
13	医療スタッフとは ☆発表【原】		医療者として何が必要な力・能力・人間力などについて理解を深める(グループワーク方式)	
14	ディスカッション【原】		傾聴力・質問力を高めることで、対人交流場面に活用することができる	
15	ディスカッション ☆【原】		学校生活・クラスでの課題や目標などグループで話し合い、相互理解を深める	
教科書・参考書・資料				
初回は学生便覧を持参します。 必要な教科書などはその都度指示します。 協同学習では、人体の構造・人体の機能の教科書と資料を持参してください。				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:100点 振り返りシート及び発表:60%(☆印箇所) 出席点:40%			グループワークや協同学習の機会が多くあります。主体的に参加していきましょう。	

OTI 年		後期	講義概要	一般目標
基礎分野			キャリアについて学習しながら、社会人になるために必要なコミュニケーション能力、仕事に取り組む姿勢や仕事の進め方を見つけていきます。	・能動的な学習の目的を確認し、理解する。 ・能動的な学習の実践ができる。 ・自分の特徴を知り、自分らしさと「働く」ことについて考えることができる。 ・仕事に求められる役割や意義を認識し、「働く」ことの理解を深める。 ・様々なワークの中で、学び・気づいたことをもとにキャリアプランをつくる。
情報コミュニケーション学Ⅱ				
Ⅰ単位		Ⅰ5回		
作業療法学科：武井亜由美 原悠平				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	チーム学習を進めるために 【原】「話し合いの意義」		個人のワークとチームのワークを行っていくチーム学習の大切さとコツを知る。 チーム学習を円滑に行うために大切なファシリテーションについて学び、メンバー同士の関わり方を身につけることができる。	
2	自己理解 ①「私の大切なもの探し」 【原】		自分の価値観を形作っている大切なものは自分にとってどのような重み、位置づけにあるのか、その現状を再認識し、メンバーと共有し、今後それをどう活かしていけばよいのかを考えられる。	
3	自己理解 ②「私ってどんな人？」 【原】		自己理解を深めることによって、自分自身を「他者に伝える」ことを意識して、「自己イメージ」を言語化・明確化できるようになる。「自分らしさ」とはどういうものかを意識し、洞察を深められる。	
4	自己理解 ③「自分を知る手がかり」 【原】		自分から見た自分と、他人から見た自分が一致、または一致しなかった結果を受け止め、自分についての気づきを得る。人は他者との関わりの中で生きており、他者は自分が成長するための大切な存在であることを再認識する。	
5	自己理解 ④「過去を振り返ろう」 【原】		過去の人生上の出来事を通して、自分の人生に対する態度（心がまえ）の根っこにあるものに気づき、自分らしさについて考えられる。	
6	自己理解 ⑤「なぜ働くの？」 【原】		自分にとっての「働く理由」や思いについて洞察を深められる。メンバーの「働く理由」を聞き合い、他者との「働く理由」「働く意味」の違いに気づき、多様な価値観があることを受け入れられるようになる。	
7	仕事理解 ①「地図を作ってみよう!!」 【武井】		仕事を行う上で必要な意識や態度について理解できる。自分のコミュニケーション特性を知り、仕事をする上で大切な円滑なコミュニケーションの取り方を体得する。	
8	仕事理解 ② 「ケーススタディで学ぶ実際の仕事」 【武井】		社会・組織の一員として、どのように行動すれば良いのかや、組織の中での自分の役割について考えられる。仕事を行う上で大切な仕事の進め方や、身につけておくべき基本的な意識と態度について理解できる。	
9	仕事理解 ③「インタビューしてみよう」 【武井】		働いている人は、どのようにしてその仕事に従事したのか、働くということとはどのようなことが実感できる。仕事をするとは、収入を得るだけでなく、自分の生き甲斐や自己成長につながることを理解できる。	
10	仕事選択 ④「～未来に向けて～ 【武井】「模擬店を出そう!!」①		仕事の進め方を模擬体験することで、全体の目標を達成するための組織の一員としての役割や「協働」について考えられる。	
11	仕事選択 ⑤「～未来に向けて～ 【武井】「模擬店を出そう!!」②		仕事の進め方を模擬体験することで、全体の目標を達成するための組織の一員としての役割や「協働」について考えられる。	
12	仕事選択 ⑥「～未来に向けて～ 【武井】「未来ページ」		キャリアの目標を実現するために具体的なキャリア・プランニングを行い、「学習目標」を明確にできる。	
13	企業・組織研究 「企業・組織を調べてみよう!!」① 【武井】		「企業や組織の特徴を理解し、自分との相性を考えながら志望する企業を見つける」という企業研究を通じてキャリア形成に必要なことを明確にできる。	
14	企業・組織研究 「企業・組織を調べてみよう!!」② 【武井】		「企業や組織の特徴を理解し、自分との相性を考えながら志望する企業を見つける」という企業研究を通じてキャリア形成に必要なことを明確にできる。	
15	まとめ 【武井・原】		今までの授業の振り返りを行い、自身の成長の確認をすることができる。 社会人基礎力	
教科書・参考書・資料				
未来ノート：一般財団法人職業教育・キャリア教育財団				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点 100点(原50点、武井50点) (未来ノート・企業研究報告書提出)			・はさみ、のり、色ペン(赤・青含む数色)、定規を準備してください。 ・グループワークを主として学習します。積極的に参加・表出する姿勢を持ちましょう。	

[illegible]

OT1年		通年	講義概要	一般目標
		基礎分野	力学を中心とした物理学と、その基礎となる数学について、基本的なものの見かたや考えかたを解説し、演習を行う。高校物理は前提としなが、「自分のあたまで考える」心がまえは必須である。	数学を使った表現に慣れ、「読み書き」ができるようになる。さまざまな物理現象を物理学の目で見ることができ、物理学の考えて説明できるようになる。またそこにかかわる物理量の意味が理解でき、計算ができるようになる。
		基礎数理学 （※前期8回）		
		2単位 16回		
		理学療法学科：秋山大輔		
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	第1章 四則演算（前期）秋山		整数・少数の計算、四捨五入、平方根の計算など	
2	第2章 比の計算（前期）秋山		比と比例式、比の値と比の計算	
3	第3章 三角関数（前期）秋山		整数・少数の計算、四捨五入など、比と比例式、比の値と比の計算	
4	第11章 運動強度・カロリー計算（前期）秋山		代謝とエネルギー代謝率、代謝当量(Mets)、BMIと標準体重、消費エネルギー	
5	第11章 運動強度・カロリー計算（前期）秋山		代謝とエネルギー代謝率、代謝当量(Mets)、BMIと標準体重、消費エネルギー	
6	第11章 運動強度・カロリー計算（前期）秋山		代謝とエネルギー代謝率、代謝当量(Mets)、BMIと標準体重、消費エネルギー	
7	第5章神経伝導速度、第14章 四分表（前期）秋山		神経伝導速度の計算、四分表の計算	
8	理解度確認		確認テスト(前期)	
教科書・参考書・資料				
教科書：PT・OT国家試験対策ワークブック 計算問題 医師薬出版				
判定基準／割合			履修上の留意点	
満点：5点、平常点45点、計50点。 後期も同様の割合で判定する。			進行状況によっては、前倒して進みます。早め早めに予習をするようにしてください。また数学を苦手としている学生は早めに教員に質問するようにしてください。	

OT1年	通年	講義概要	一般目標
基礎分野 基礎数学 (※後期8回)		力学を中心とした物理学と、その基礎となる数学について、基本的なものの見かたや考えかたを解説し、演習を行う。高校物理は前提としなが、「自分のあたまで考える」心がまえは必須である。	数学を使った表現に慣れ、「読み書き」ができるようになる。さまざまな物理現象を物理学の目で見ることができ、物理学の考えて説明できるようになる。またそこにかかわる物理量の意味が理解でき、計算ができるようになる。
2単位	16回		
作業療法学科：金谷優志			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
9	物理量について（後期）	単位の意味を理解し、単位の変換ができる	
10	第4章 速度と加速度（後期）	速度、加速度、重力加速度の定義を理解できる 速度、加速度、重力加速度の計算ができる	
11	第4章 速度と加速度（後期）	実験を通して、速度、加速度、重力加速度を体感し、計算ができる	
12	第6章 力と仕事（後期）	力と質量、重さ、運動の法則、仕事率の定義を理解できる 力と質量、重さ、運動の法則、仕事率を理解し、計算ができる	
13	第6章 力と仕事（後期）	実験を通して、力と質量、重さ、運動の法則、仕事率を体感し、計算ができる	
14	第8章 てこの計算（後期）	モーメント、てこの定義を理解できる モーメント、てこのつり合いの計算ができる	
15	第8章 てこの計算（後期）	実験を通して、モーメントやてこの作用を体感し、計算ができる	
16	理解度確認	筆記試験	
教科書・参考書・資料			
教科書：PT・OT国家試験対策ワークブック 計算問題 医師薬出版			
判定基準／割合		履修上の留意点	
素点：100点(後期試験) 平常点：0点		授業内では解説の時間を多くとるようにします。 授業前までに予習をし、理解の難しい部分を明確にしてください。 実験の回では、動きやすい服装を準備してください。	

OTI年		通年	講義概要	一般目標
基礎分野			実際に体を動かし、座学で学んだ基礎知識の活用方法を学ぶ。	患者に限らず、対象者の運動学習を促すにあたり、自らの体験・経験を踏まえた上での運動指導ができるようになる。
健康と身体				
I単位				
15回				
非常勤講師:川原元 作業療法学科:原悠平 理学療法学科:小林好信				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	健康と身体		ストレッチ・準備体操 体幹筋トレ 3点倒立	
2	健康と身体		側転 振りつけ グループワーク ダイナミックストレッチ	
3	健康と身体		ストレッチ・準備体操 体幹筋トレ 3点倒立	
4	健康と身体		振りつけ グループワーク 体幹トレーニング	
5	健康と身体		ストレッチ・準備体操 体幹筋トレ 3点倒立	
6	健康と身体		側転 振りつけ グループワーク	
7	健康と身体		ストレッチ・準備体操 体幹筋トレ 3点倒立	
8	健康と身体		振りつけ グループワーク 3点倒立	
9	健康と身体		ストレッチ・準備体操 体幹筋トレ 3点倒立	
10	健康と身体		振りつけ グループワーク 3点倒立	
11	健康と身体		ストレッチ・準備体操 体幹筋トレ 3点倒立	
12	健康と身体		3点倒立、自重コアトレーニング	
13	健康と身体		ストレッチ・準備体操 体幹筋トレ 3点倒立	
14	健康と身体		3点倒立、自重コアトレーニング	
15	習得度確認		実技試験	
教科書・参考書・資料				
なし。				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:100点 実技試験・レポートより総合的に判定			動きやすい服装で臨むこと	

OT1年		後期	講義概要	一般目標
基礎分野			社会福祉は「国民一人一人のよりよい生活を支えるための社会的努力や方策の総体」です。医療や福祉の専門職は多くの社会資源を知り有効に活用できる力が必要です。この授業では社会福祉の概念、対象者、具体的な制度のポイント、高齢社会の動向、今後の課題について学習します。	1 社会福祉の基本となる概念を理解する。 2 福祉ニーズを持つ人を支える法や制度を理解する 3 現在の医療・保健・福祉の実態、今後の課題を知る。
社会福祉概論				
1単位		15回		
非常勤講師:佐藤真生子 作業療法学科:武井亜由美 理学療法学科:秋山大輔				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	社会福祉と生活問題		社会福祉の概念、社会福祉の対象、生活問題との関係について学ぶ	
2	社会福祉を取り巻く社会状況		超高齢社会の現状を知る	
3	社会福祉の原理①		ノーマライゼーション思想とはどのようなものか	
4	社会福祉の原理②		自己決定、自立について考える	
5	障害者の福祉①		障害とは何か 障害者福祉の発展	
6	障害者の福祉②		障害者の福祉を支える諸制度 事例から考える	
7	障害者の福祉③		障害者総合支援法のポイント	
8	高齢者の福祉①		高齢期の特徴 高齢者の生活実態	
9	高齢者の福祉②		要介護高齢者と介護問題	
10	高齢者の福祉③		介護保険法のポイント	
11	貧困問題と社会福祉①		貧困の定義、日本の貧困の動向	
12	貧困問題と社会福祉②		所得を保障する法律や制度の概要を押さえる	
13	子ども家庭福祉①		子どもの権利、子育て・子育てをめぐる課題	
14	子ども家庭福祉②		子ども福祉を支える諸サービス	
15	理解度の確認		本試験	
教科書・参考書・資料				
当日配布資料にて実施				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:リフレクションシート10点 棄点:本試験90点			TV、新聞、ネットなどで福祉や医療のニュースを意識して視聴してください。	

OTI年		後期	講義概要	一般目標
基礎分野			人間は社会の中で生きる存在である。一人のひとの健康や人生は社会から大きな影響を受け、一方で、一人ひとりの人が全体として社会を作っているともいえる。公衆衛生の授業では私たちの健康に影響を与える諸要素について理解を深める。特に健康行動、環境保健、医療政策の3つに軸をおいて授業を行う。	公衆衛生の概念と重要性、我が国における健康を支える社会のシステムや取り組みを学び、社会的な面からも健康をとらえる視座を持つことができる。
公衆衛生学				
I単位	8回			
非常勤講師：山瀧一、小倉康平 作業療法学科：武井亜由美 理学療法学科：秋山大輔				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	総論		医療と公衆衛生の歩み、健康と公衆衛生の概念、公衆衛生分野におけるキーワードについて解説する。	
2	保健統計		公衆衛生指標のうち重要なものについて、その概念と我が国における動向を学ぶ。	
3	医の倫理と法令		医療・公衆衛生分野における、倫理や法令について学ぶ。	
4	社会保障と医療経済		我が国における社会保障体制について知り、また医療経済の現状を学ぶ。	
5	感染症対策		社会全体や医療機関における感染症対策について、その基礎的な事項を学ぶ。	
6	母子保健・高齢者保健		各領域における公衆衛生指標と現状の課題を理解し、国や社会の取り組みについて学ぶ。	
7	障害者保健・精神保健		各領域における公衆衛生指標と現状の課題を理解し、国や社会の取り組みについて学ぶ。	
8	理解度の確認【常勤教員】		本試験実施	
教科書・参考書・資料				
配布資料にて実施				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点：10点 棄点：本試験90点			講義のみならず、多くの参加型ワークショップによって授業を進める。	

OT1年		通年	講義概要	一般目標
基礎分野			見学先で目にする物品の名称や職員が使う専門用語がわかるように、またレポートに正しく記載できるように1年次でもよく使う用語について調べながら覚えていく。 運動学や人体の構造、2年時の専門科目を本格的に学ぶ前に基礎的な用語を体験しながら覚えていく。	①専門用語の読み方・漢字・定義・略字を覚え、正し記載できる。 ②不明な用語について自分で適切に調べる事ができる。 ③見学実習先で関わる用語を理解し、専門用語を正しく使用したレポートが書ける。 ④学んだ用語を日常で使用できる。
医学用語				
1単位	15回			
作業療法学科:武井亜由美				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	補装具・職種		職種と略語 杖・装具の種類と名称 車椅子の種類と各部名称	
2	補装具・職種		車椅子乗車・操作体験	
3	運動		小テスト:車椅子各部名称 各関節の運動と英語(英語は書けなくても良いが単語を見て意味が分かる事)	
4	人体・肢位・筋		小テスト:運動方向 人体の各部名称、肢位、筋の名称	
5	人体・肢位・筋		人体の各部名称、肢位	
6	脳血管障害関連用語		小テスト:肢位 脳出血と脳梗塞、脳血栓と脳塞栓の違い 調べ方の練習	
7	症状・障害		麻痺の分類 調べ方の練習	
8	身体機能領域の用語精神機能領域の用語		身体機能領域・精神機能領域で用いられる用語を調べ、正しく読める、漢字で書ける、意味が分かる。	
9	身体機能領域の用語精神機能領域の用語		身体機能領域・精神機能領域で用いられる用語を調べ、正しく読める、漢字で書ける、意味が分かる。	
10	身体機能領域の用語精神機能領域の用語		身体機能領域・精神機能領域で用いられる用語を調べ、正しく読める、漢字で書ける、意味が分かる。	
11	疾患調べ		各自、担当する疾患について調べまとめる。 (読み方、略字、概要、治療等)	
12	疾患調べ		各自、担当する疾患について調べまとめる。 ※レポート提出(提出方法については別途指示する) (読み方、略字、概要、治療等)	
13	疾患(発表)		各自調べた疾患について発表する。	
14	疾患(発表)		各自調べた疾患について発表する。	
15	学習理解度確認		1～14回で学んだ用語について説明できる。	
教科書・参考書・資料				
教科書:無し。適宜プリントを配布します。 参考書:上田敏/大川弥生 編「リハビリテーション医学大辞典」医歯薬出版				
判定基準/割合			履修上の留意点	
満点 84点(後期に全範囲実施、100点満点×0.84) 平常点 16点(レポート5点、発表5点、 小テスト3回×各2点) *小テストは満点2点、8割1点、8割以下は0点。 再テストは希望があれば何度でも可			国語辞典、英和辞典、医学事典、電子辞書等持っている方は持参。	

OTI年		通年	講義概要	一般目標
基礎分野			1～3年生でのグループ学習を行う。9 1. 9回目までは、6回の授業を通して課題を理解し、理解した内容について発表する。各回において事前・事後課題に取り組む。 2. 10回目以降は、症例・実技課題を通して、評価手技と臨床思考に触れる。	1. 質問することを通して、能動的な学習態度を身につけることができる。また、現在学んでいる内容の必要性・関連性等を理解して、学習意欲向上につなげることができる。 2. 1年次に学んだ内容について理解し、2年次の学習につながるよう知識を定着化することができる。
総合演習 I				
I 単位	I 5回			
作業療法学科:原悠平				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	オリエンテーション【原】		1～3年生でのグループ学習の進め方について理解することができる。合同グループで1回目の事前学習に取り組むことができる	
2	課題授業①		1～3年生でのグループ学習で、提示された課題について理解し説明できる	
3	課題授業②		1～3年生でのグループ学習で、提示された課題について理解し説明できる	
4	課題授業③		1～3年生でのグループ学習で、提示された課題について理解し説明できる	
5	課題授業④		1～3年生でのグループ学習で、提示された課題について理解し説明できる	
6	課題授業⑤		1～3年生でのグループ学習で、提示された課題について理解し説明できる	
7	課題授業⑥		1～3年生でのグループ学習で、提示された課題について理解し説明できる	
8	発表①		6回の授業を通し、提示された課題についてグループで協力して資料作成し、発表することができる	
9	発表②まとめ・ふりかえり		6回の授業を通し、提示された課題についてグループで協力して資料作成し、発表することができる	
10	課題演習①		1～3年生でのグループ学習で、提示された実技課題について理解し説明・実施できる	
11	課題演習②		1～3年生でのグループ学習で、提示された実技課題について理解し説明・実施できる	
12	課題演習③		1～3年生でのグループ学習で、提示された実技課題について理解し説明・実施できる	
13	課題演習④		1～3年生でのグループ学習で、提示された実技課題について理解し説明・実施できる	
14	課題演習⑤		1～3年生でのグループ学習で、提示された実技課題について理解し説明・実施できる	
15	課題演習⑥		1～3年生でのグループ学習で、提示された実技課題について理解し説明・実施できる	
教科書・参考書・資料				
主に人体の構造・人体の機能・運動学の教科書を使用する。 QBクエスチョンバンク 2024 共通 その他、その都度指示をする。				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点100点 ① 課題授業①～⑥・課題演習①～⑥ 96点 （事前課題3点×6回 事後課題3点×6回 成果物12点） ②授業態度 4点			日々の積み重ね学習が基本です。 課題の理解に重点を置き、能動的に学習に取り組みましょう。	

OTI年 前期		講義概要	一般目標
専門基礎分野		正常な人体の構造を理解し、その構造がどのように機能発現に関わっているのかを学ぶ。 正常な構造と機能が基となり、病気の成り立ちを理解することが、それに基づいた診断と治療・リハビリの裏付けとなり科学的根拠を深めることになる。	◎全身の概ねの構造について説明できる ◎身体の階層構造について説明できる ◎骨とその詳細な部位について説明できる ◎関節の構造について説明できる
人体の構造Ⅰ (※ 骨・関節の解剖学)			
I 単位	I 5回		
作業療法学科:金谷優志 理学療法学科:岸本保奈美			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
1	オリエンテーション【金谷】 解剖学総論 (教科書;第1章ⅠⅡⅢ p3-26)	○「人体の構造Ⅰ」の講義概要を理解する。教科書の構成を確認する。 ○解剖学の目的、解剖学的位置および方向と位置を示す解剖学用語を理解する。 ○身体は細胞、組織、器官、系統の階層構造からなることを理解する。	
2	骨学総論【金谷】 (教科書;第2章Ⅰ p27-35)	○骨の構造や発生について総論的に理解する。 ○骨格全体の成り立ちを把握するとともに、個々の骨の名称や数を正確に知る。 ○なぜ存在するのかを理解しながら、個々の骨の特徴的な構造を学習する。	
3	骨学各論 上肢の骨①【金谷】 上肢帯(鎖骨・肩甲骨) (教科書;第2章Ⅱ p58-61)	○鎖骨・肩甲骨の構造について理解する。 ○各骨の詳細部位や、そこに付着する物について理解する。 ○鎖骨・肩甲骨の連結を大まかに知る。	
4	骨学各論 上肢の骨②【金谷】 自由上肢骨(上腕骨) (教科書;第2章Ⅱ p61-62)	○上腕骨の構造について理解する。 ○各骨の詳細部位や、そこに付着する物について理解する。 ○鎖骨・肩甲骨・上腕骨の連結を大まかに知る。	
5	骨学各論 上肢の骨③【金谷】 自由上肢骨(橈骨・尺骨) (教科書;第2章Ⅱ p62-64)	○橈骨・尺骨の構造について理解する。 ○各骨の詳細部位や、そこに付着する物について理解する。 ○上腕骨・橈骨・尺骨の連結を大まかに知る。	
6	骨学各論 上肢の骨④【金谷】 自由上肢骨(手根骨・中手骨・指骨) (教科書;第2章Ⅱ p64-67)	○手根骨・中手骨・指骨の構造について理解する。 ○各骨の詳細部位や、そこに付着する物について理解する。 ○橈骨・尺骨・手根骨・中手骨・指骨の連結を大まかに知る。	
7	関節靱帯学総論【金谷】 (教科書;第3章Ⅰ p85-101)	○骨の連結の正常な構造と機能を総論的に学ぶ。 ○骨の連結を3種類に大別して、それらの安定性と可動性を比較する。 【体験・実技】自身の身体を動かして、関節の可動を知る(動きやすい服装で)	
8	骨学各論 脊柱・胸郭①(岸本)	脊柱の構造(椎体・椎弓・棘突起)や頸椎・胸椎・腰椎の構造の違いについて理解する	
9	骨学各論 脊柱・胸郭②(岸本)	胸郭の構造(肋骨の構造・形態・脊柱との関係性)について理解する	
10	骨学各論 下肢の骨①(岸本)	骨盤の構造(腸骨・坐骨・恥骨・寛骨、骨盤)について理解する	
11	骨学各論 下肢の骨②(岸本)	自由下肢骨(大腿骨・膝蓋骨)の構造について理解する	
12	骨学各論 下肢の骨③(岸本)	自由下肢骨(脛骨・腓骨)の構造について理解する	
13	骨学各論 下肢の骨④1回目(岸本)	自由下肢骨(足根骨・中足骨・趾骨)の構造について理解する	
14	骨学各論 下肢の骨④2回目(岸本)	自由下肢骨(足根骨・中足骨・趾骨)の構造について理解する	
15	理解度の確認	○本試験	
教科書・参考書・資料			
教科書:野村嶺(編):標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野,解剖学,第6版,医学書院,2024。 配布資料:竹内修二(著):解剖トレーニングノート,改訂第3版,医学教育出版社,2007。 中島雅美(編):理学療法士・作業療法士 基礎から学ぶ解剖学ノート,第3版,医歯薬出版株式会社,2017。 参考書:松村譲児:イラスト解剖学,第9版,中外医学社,2017。			
判定基準／割合		履修上の留意点	
素 点:前期試験／70点 平常点:小テスト／30点		○講義は、主に教科書・模型を用います。補助的に視聴覚教材を用います。 ○毎回、前回授業内容の小テストを実施します。	

OTI年 後期		講義概要	一般目標
専門基礎分野		正常な人体の構造を理解し、その構造がどのように機能発現に関わっているのかを学ぶ。 正常な構造と機能が基となり、病気の成り立ちを理解することが、それに基づいた診断と治療・リハビリの裏付けとなり科学的根拠を深めることになる。	◎骨格筋の一般的な構造と機能を理解する。
人体の構造Ⅱ			◎人体の主要な骨格筋について、その構造を知り、その作用を理解する。
(※ 筋の解剖学)			◎各筋の起始・停止・走行・支配神経・作用について理解する。
I 単位	I 5回		
作業療法学科:金谷優志 理学療法学科:岸本保奈美			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
1	オリエンテーション【金谷】 筋学総論 (教科書;第4章Ⅰ p147-164)	○「人体の構造Ⅱ」の講義概要を理解する。教科書の構成を確認する。 ○筋組織の種類と特徴、骨格筋の構造、骨格筋の作用、骨格筋の神経支配	
2	筋学総論【金谷】 (教科書;第4章Ⅰ p147-164)	○筋組織の種類と特徴、骨格筋の構造、骨格筋の作用、骨格筋の神経支配 ※前回内容の小テストを実施する	
3	上肢帯の筋・上腕の筋【金谷】 (教科書;第4章Ⅱ p187-191)	○上肢帯、上腕の筋について構造(起始・停止・走行・作用・神経支配)を知る ※前回内容の小テストを実施する	
4	前腕の筋(屈筋群)【金谷】 (教科書;第4章Ⅱ p192-198)	○前腕の屈筋について構造(起始・停止・走行・作用・支配神経)を知る ※前回内容の小テストを実施する	
5	前腕の筋(伸筋群)【金谷】 (教科書;第4章Ⅱ p192-198)	○前腕の伸筋について構造(起始・停止・走行・作用・支配神経)を知る ※前回内容の小テストを実施する	
6	手の筋(手内在筋)【金谷】 (教科書;第4章Ⅱ p199-202)	○手内在筋について(起始・停止・走行・作用・支配神経)を知る ※前回内容の小テストを実施する	
7	胸部の筋(岸本)	大胸筋、小胸筋、前鋸筋、内外肋間筋、横隔膜、呼吸筋とその補助筋、呼吸運動について	
8	腹部の筋(岸本)	腹直筋、内外腹斜筋、腹横筋、腰方形筋、腹筋をしたときの活動	
9	背部の筋(岸本)	僧帽筋、広背筋、菱形筋群、肩甲挙筋、脊柱起立筋について詳細に学習する	
10	顔面の筋(岸本)	表情筋(眼輪筋、口輪筋、前頭筋、離眉筋など)と咀嚼筋(大頬骨筋、側頭筋、翼突筋)	
11	股関節周囲の筋(岸本)	臀筋群、外転筋、外旋筋について	
12	大腿の筋(岸本)	大腿四頭筋、ハムストリングス、大腿外側の筋について	
13	下腿の筋(岸本)	前脛骨筋、腓腹筋、ヒラメ筋について	
14	足の筋(岸本)	足底筋、その他足指の筋について	
15	まとめ 理解度の確認	○本試験	
教科書・参考書・資料			
教科書:野村嶋(編):標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野、解剖学、第6版、医学書院、2024。 配布資料:竹内修二(著):解剖トレーニングノート、改訂第3版、医学教育出版社、2007。 中島雅美(編):理学療法士・作業療法士 基礎から学ぶ解剖学ノート、第3版、医歯薬出版株式会社、2017。 参考書:松村謙児:イラスト解剖学、第9版、中外医学社、2017。			
判定基準／割合		履修上の留意点	
素 点:90点(総論25点、各論65点) 平常点:10点(小テスト)		○講義は、主に教科書・自身の身体を用います。補助的に視聴覚教材を用います。 ○なるべく動きやすい服装で出席してください。 ○毎回、前回授業内容の小テストを実施します。	

OTI 年		前期	講義概要	一般目標
専門基礎分野			正常な人体の構造(循環器・消化器)を理解し、その構造がどのように機能発現に関わっているかを学ぶ。正常な構造と機能が基になり病気の成り立ちを理解することが、それに基づいた診断と治療・リハビリの裏付けとなり科学的根拠を深めることになる。本講義の内容は次年度の疾患学である「内科学」に繋がっていく。 “循環器と消化器”	人体における全身の正常な構造(循環器・消化器)やそれに関係する事象について理解でき、他者に説明できることを目標とする。
人体の構造Ⅲ (※ 総論・循環器・消化器)				
I 単位		I 5回		
作業療法学科:原悠平 理学療法学科:秋山大輔				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	総論		生物基礎までの復習:動物の分類、呼吸と循環、消化管	
2	総論		生物基礎までの復習:神経系と反射、細胞、細胞分裂、DNAなど	
3	総論		生物基礎までの復習:優性遺伝と劣性遺伝、常染色体と性染色体、伴性遺伝など	
4	循環器系 総論/各論		総論 血管 肺循環/体循環 脳血管 心臓周囲の血管	
5	消化器系 総論・各論		消化器の流れ	
6	消化器系 各論		口腔、咽頭	
7	消化器系 各論		食道、胃	
8	消化器系 各論		小腸(十二指腸・空腸・回腸)、大腸(盲腸・結腸)	
9	消化器系 各論		肝臓、胆のう、膵臓	
10	消化器系 各論 代謝		糖質代謝	
11	消化器系 各論 代謝		脂質代謝	
12	消化器系 各論 代謝		蛋白質代謝	
13	消化器系 各論 代謝		ビタミン など	
14	症例演習		ダイエットの効果やリスク(脂質代謝 蛋白質代謝 ビタミン などの知識の活用)	
15	理解度確認		筆記試験・前期授業の振り返り	
教科書・参考書・資料				
教科書:標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学 第5版、医学書院 教科書:からだが見える 人体の構造と機能 第1版、メディックメディア				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:28点 {レポート(2点×14回)} 素点:72点 {筆記試験(72点)}			毎回授業後にレポート課題が出されます。 指定された日までにレポートを提出することでレポート点を加算します。	

OTI年 後期		講義概要	一般目標
専門基礎分野		正常な人体の構造を理解し、その構造がどのように機能発現に関わっているかを学ぶ。正常な構造と機能が基になり病気の成り立ちを理解することが、それに基づいた診断と治療・リハビリの裏付けとなり科学的根拠を深めることになる。本講義の内容は次年度の「内科学」や「臨床神経学」に繋がっていく。	人体の全身の正常な構造(神経系や泌尿器・生殖器・内分泌・呼吸器・感覚器)について理解でき、他者に説明できることを目標とする。
人体の構造Ⅳ (※ 神経系・泌尿器・生殖器・内分泌・呼吸器・感覚器)			
1単位	15回		
作業療法学科:原悠平 理学療法学科:秋山大輔			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
1	神経総論【秋山】	神経の構造	
2	脊髄神経【秋山】	感覚神経 運動神経について学ぶ	
3	末梢神経【秋山】	脊髄から筋に至る神経を学ぶ	
4	自律神経【秋山】	交感神経・副交感神経の構造・役割・作用などを学ぶ	
5	脳神経【秋山】	12本の脳神経について学ぶ	
6	上肢の末梢神経【秋山】	上肢の末梢神経の構造を学ぶ	
7	下肢の末梢神経【秋山】	下肢の末梢神経の構造を学ぶ	
8	中枢神経系/脳概論【原】	大脳皮質の構造について学ぶ	
9	中枢神経系【原】	中脳・脳幹・小脳・脊髄の構造について学ぶ	
10	感覚器 総論/各論【原】	皮膚、視覚器(眼窩・眼球)	
11	感覚器 各論【原】	聴覚器(聴覚・平衡感覚)	
12	呼吸器 総論/各論【原】	総論 上気道	
13	呼吸器 各論【原】	下気道・肺・胸膜	
14	泌尿器生殖器 総論/各論【原】	腎・泌尿器・生殖器など	
15	理解度確認【原・秋山】	筆記試験・前期授業の振り返り	
教科書・参考書・資料			
教科書:標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 解剖学、医学書院 教科書:からだが見える 人体の構造と機能 第1版、メディックメディア			
判定基準／割合		履修上の留意点	
平常点:19点 {レポート(2点×7回)(8~14回目)+出席点5点(1~7回目)} 棄点:81点 {筆記試験(81点)}			

OTI年		前期	講義概要	一般目標
専門基礎分野			基礎となる細胞の一般生物学や、個体としての生命を成り立たせている機能系について包括的に学ぶ。植物性機能、特に消化器系・代謝以外を範囲とする。演習では実際に知識を問題解決のために用い理解することで、日常生活における生理的反応への関心を高めることを目的としている。 ～「生きるため」の機能を学ぼう～	各機能系について、物理的・化学的要素を出発点に、現象の生理学的な説明ができる。臨床的意義を理解し、生理学的なディスカッションができる。
人体の機能Ⅰ (※ 植物性機能の生理学)				
Ⅰ単位		Ⅰ5回		
作業療法学科:武井亜由美 理学療法学科:堀江隆貴				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	生理学総論		生理学とは。発生について。	
2	細胞小器官		細胞小器官の役割について説明できる。	
3	循環器系		血圧と血圧調節機構(神経性調節:圧受容器反射)について説明できる。	
4	循環器系・泌尿器系		腎臓の機能について説明できる。血圧調節機構の液性調節について説明できる。	
5	泌尿器系・自律神経系		排尿反射、交感神経と副交感神経、闘争か逃走か反応について説明できる。	
6	呼吸器系		化学受容器反射について説明できる	
7	呼吸器系・泌尿器系		酸塩基平衡について説明できる	
8	血液～血液凝固系・線溶系～		血液の成分・生成・分化、血小板の機能、動脈硬化の病態の基礎について説明できる。	
9	血液～赤血球～		血液の成分・生成・分化、赤血球の機能、貧血の病態の基礎について説明できる。	
10	血液～免疫系～		白血球の機能、アレルギーの病態の基礎について説明できる。	
11	内分泌系①総論・性・血糖		内分泌系とはなにか、主に月経周期について説明できる。	
12	内分泌系②骨代謝関連		骨形成と骨吸収、リモデリング、骨粗鬆症・骨軟化症の病態の基礎について説明できる。	
13	循環器系・呼吸器系		呼吸性不整脈とバルサルバ試験の生理学的機序について説明できる。	
14	組織学総論		上皮組織、筋組織、神経組織、結合組織について説明できる。	
15	理解度の確認		筆記試験にて判定する	
教科書・参考書・資料				
参考書:竹内昭博著『Qシリーズ 新生理学』日本医事新報社 2021				
判定基準／割合			履修上の留意点	
棄 点:筆記試験 86点 平常点:課題提出 14点			※必ずノートを持参すること。また写すだけでなく、理解するためのノートを作成すること。※課題提出については、次回の授業の前日17:00までに提出すること(14コマ目の講義分に関しては、講義から1週間後を期限とする)。1回につき1点を付与する。	

OTI年		後期	講義概要	一般目標
専門基礎分野			細胞の一般機能を基礎として、個体としての生命を成り立たせている機能系について包括的に学ぶ。動物性機能の感覚・統合・運動系までを範囲とする。 ～「動くため」の機能について学ぼう～	各機能系について、物理的・化学的要素を出発点に、現象の生理学的な説明ができる。臨床的意義を理解し、生理学的なディスカッションができる。
人体の機能Ⅱ				
(※ 動物性機能の生理学)				
I単位		I5回		
作業療法学科:武井亜由美 理学療法学科:堀江隆貴				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	筋(構造による特性)		弾性要素、収縮要素、羽状筋、紡錘状筋、生理的断面積について説明できる。	
2	筋(筋力の変動について:筋長)		興奮収縮連関(連結橋・フィラメント滑走説)、長さ張力曲線について説明できる。	
3	筋(筋力の変動について:収縮速度)		収縮様式(求心性・等尺性・遠心性)、速さ張力曲線について説明できる。	
4	筋(筋力の変動について)		筋線維タイプ(赤筋・白筋など)、運動単位(動員とサイズの原理)について説明できる。	
5	神経(運動系レベル) 下行性伝導路(中枢・末梢)①		錐体路(皮質脊髓路)、錐体外路(網様体脊髓路 等)、脊髓反射(伸張反射)	
6	神経(運動系レベル) 下行性伝導路(中枢・末梢)②		脊髓反射($\alpha\gamma$ 連関・筋紡錘の構造)について説明できる。	
7	神経(運動系レベル) 下行性伝導路(中枢・末梢)③		脊髓反射(Ib抑制・腱紡錘の構造)	
8	中枢神経(大脳皮質・大脳辺縁系)		大脳皮質・大脳辺縁系の機能について説明できる。	
9	中枢神経(大脳基底核・小脳)		大脳基底核・小脳の機能について説明できる。	
10	中枢神経(間脳・脳幹・脊髓)		間脳・脳幹・脊髓の機能について説明できる。	
11	神経(感覚系レベル) 上行性伝導路(一般感覚系)		一般感覚と特殊感覚の概要について説明できる。	
12	神経(細胞レベル)		静止膜電位と活動電位の発生機序について説明できる。	
13	神経(細胞レベル)		神経伝導について説明できる。	
14	神経(組織レベル)		シナプス伝達について説明できる。	
15	理解度の確認		筆記試験にて判定する	
教科書・参考書・資料				
参考書:竹内昭博著『Qシリーズ 新生理学』日本医事新報社 2021				
判定基準／割合			履修上の留意点	
満点:筆記試験 86点 平常点:課題提出 14点			※必ずノートを持参すること。また写すだけでなく、理解するためのノートを作成すること。※課題提出については、次回の授業の前日17:00までに提出すること(14コマ目の講義分に関しては、講義から1週間後を期限とする)。1回につき1点を付与する。	

OTI 年 後期		講義概要	一般目標
専門基礎分野		運動の理解に必要な基礎力学および運動解析に必要な解剖学の基本を学ぶ また、運動に関わる生理学的メカニズムについて学習する。	運動を力学的にとらえ生理学的に説明できることを目標とする
運動学Ⅰ			
(※ バイオメカニクス, 身体の基本動作)			
Ⅰ単位	Ⅰ5回		
理学療法学科: 藤原正之 作業療法学科: 金谷優志			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
1	さまざまな姿勢 [基礎運動学 p355-364]【金谷】	○ヒトの運動や行動を理解する基礎となる, さまざまな姿勢の分類を知り, 体験する。 ○さまざまな姿勢の状態を, 記述できるようになる。	
2	姿勢と姿勢制御の基本概念 [教科書 p32-43]【金谷】	○姿勢や運動の基礎的な概念である, 重心と支持基底面について理解する。 ○さまざまな姿勢制御に利用される情報や機構について体験を通して理解する。	
3	運動の中枢神経機構 [基礎運動学 p117-135]【金谷】	○前回実施した姿勢制御機構に関わる反射・反応について, 理解を深める。 ○発達の見地より, 反射・反応を学習する。	
4	【実習】基本動作の体験① 座位・立ち上がり [教科書 p108-113, 130-139]【金谷】	○座位姿勢および立ち上がり動作の基本を理解する。 ○体験および観察を通し, 人による座位・立ち上がりの違いに気づく。 ○座位姿勢および立ち上がり動作を運動学的に記述できるようになる。	
5	【実習】基本動作の体験② 臥位・起き上がり [教科書 p50-53, 88-97]【金谷】	○臥位姿勢および起き上がり動作の基本を理解する。 ○体験および観察を通し, 人による臥位・起き上がりの違いに気づく。 ○臥位姿勢および起き上がり動作を運動学的に記述できるようになる。	
6	【実習】基本動作の体験③ 寝返り [教科書 p62-73]【金谷】	○寝返り動作の基本を理解する。 ○体験および観察を通し, 人による寝返りの違いに気づく。 ○寝返り動作を運動学的に記述できるようになる。	
7	まとめ【金谷】 リハビリテーションへの応用に向けて	○体験した基本動作を, 再度, 運動学的に理解する。 ○姿勢や動作と, 対象者の生活とのつながりについて検討する。(グループワーク)	
8	膝関節機能解剖の復習(骨学)(岸本)	膝関節における骨学の復習と運動学との関与を理解する	
9	膝関節機能解剖の復習(筋学)(岸本)	膝関節における筋学の復習と運動学との関与を理解する	
10	膝関節機能解剖の復習(靱帯)(岸本)	膝関節における靱帯の復習と運動学との関与を理解する	
11	膝関節機能解剖の復習(その他軟部組織)(岸本)	膝関節における軟部組織の復習と運動学との関与を理解する	
12	膝関節における運動学(岸本)	脛骨大腿関節の運動に関する理解を深める	
13	膝関節における運動学(岸本)	膝蓋大腿関節の運動に関する理解を深める	
14	総復習(岸本)	これまでの授業の振り返りを実施する	
15	学習理解度の確認	○試験を通じて理解度を確認する。	
教科書・参考書・資料			
教科書: 弓岡光徳ほか(編): 基本動作の評価と治療アプローチ, メジカルビュー社, 2017。 参考書: 中村隆一ほか(著): 基礎運動学, 第6版補訂, 医歯薬出版株式会社, 2012。 適宜資料を配布する			
判定基準/割合		履修上の留意点	
※ 点: 100点(金谷分50点, 岸本分50点)		【実習】と記載のある回には, 動作の体験を行いますので, ジャージなど動きやすい服装で出席してください。また, 他者と接触する可能性があるため, アクセサリー類は外し, 長い髪はヘアゴムやピンで留めるようにしてください。	

OT1年 後期		講義概要	一般目標
専門基礎分野		教科書は「リハビリテーション 生化学・栄養学」を用いる。岩熊の担当は、P72~103を中心に「運動と栄養」「リハビリテーションと栄養」「栄養評価」「主な病態の栄養管理」を講義とグループワークを用い学ぶ。	セラピストとして現場に出た際、患者や利用者に対して活用できる知識を得ることができる。更に、グループディスカッションを通して、現場に出た際に、カンファレンス等で多職種の前で発言する場に慣れることができる。
リハビリテーション医学Ⅰ (栄養・予防)			
2単位	15回		
作業療法学科：兼子健一 理学療法学科：藤原正之 非常勤講師：岩熊麻美、板倉大輔、浦部智章、鈴木絵里子			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
1	運動と栄養 リハビリテーションと栄養 低栄養と過栄養【岩熊】	運動と栄養 リハビリテーションと栄養 低栄養と過栄養	
2	運動と栄養 リハビリテーションと栄養 低栄養と過栄養【岩熊】	項目1の内容を加味したグループディスカッション	
3	糖尿病【岩熊】	糖尿病とは。糖尿病の栄養管理。糖尿病とリハビリテーション。	
4	糖尿病【岩熊】	項目3の内容を加味したグループディスカッション	
5	低栄養とサルコペニア【岩熊】	低栄養とは。低栄養の評価。サルコペニア。サルコペニアの評価。低栄養、サルコペニアのリハビリテーション。	
6	低栄養とサルコペニア【岩熊】	項目5の内容を加味したグループディスカッション	
7	予防とは？ ～理論と実際の生活から考える【鈴木】	作業行動理論や作業科学の視点から、予防（毎日の生活）を考える	
8	介護予防について【浦部】	介護予防概論 君津市での介護予防を考えよう 地域での介護予防の実例	
9	介護予防について【浦部】	介護予防とは 地域包括ケアシステムの中での役割 介護予防のターゲット 実践！やってみようコグニサイズ（実技）	
10	地域での介護予防の実例【浦部】	PTとは？OTとは？～PTができる事、OTができる事（個人・グループ検討） 地域での介護予防の実例 実施プログラムを考えよう（個人・グループ検討）	
11	やってみよう、介護予防【浦部・関口】	フレイル サルコペニア 認知症 コグニサイズ	
12	講義当日に配布する【板倉】	講義当日に配布する	
13	講義当日に配布する【板倉】	講義当日に配布する	
14	講義当日に配布する【板倉】	講義当日に配布する	
15	筆記試験	理解度の確認	
教科書・参考書・資料			
リハビリテーション 生化学・栄養学 内山 靖 他 医歯薬出版			
判定基準／割合		履修上の留意点	
満点：40点 平常点：60点（授業に対する積極的参加態度などを総合的に判断）		筆記試験試験は、後期試験期間に実施する。	

OTI年		後期	講義概要	一般目標
専門基礎分野			病理学とは病気の原因、発生のしくみ、経過、転帰（病気の結末）などの一連の過程を調べ、病気及び病的状態の本質を研究する学問です。 本講義では、リハビリテーション領域において必要とされる病理の知識を中心に講義します。解剖学・生理学の知識とつなげ、2年次の臨床医学の理解へとつなげる科目です。	・リハビリテーション領域に必要とされる病理的知識を理解し説明できる。 ・解剖学、生理学の知識と関連付けて説明することができる。
病理学				
I単位	8回			
作業療法学科：武井亜由美				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	細胞・組織とその障害 再生と修復		☐ 細胞と組織の基本的構造を理解できる。 ☐ 細胞が障害を受けた結果、どのような変化が生じるかを説明できる。 ☐ 組織には細胞死と再生があることを説明できる。 ☐ 生体には修復があることを説明できる。	
2	循環障害		☐ 血液とリンパ液の循環を理解できる。 ☐ 循環障害の原因と引き起こされる病態を説明できる。 ☐ 血行動態の障害による病態と体液バランスの障害による病態を説明できる。 ☐ 高血圧の原因と合併症について理解する。	
3	循環障害		☐ 血液とリンパ液の循環を理解できる。 ☐ 循環障害の原因と引き起こされる病態を説明できる。 ☐ 血行動態の障害による病態と体液バランスの障害による病態を説明できる。 ☐ 高血圧の原因と合併症について理解する。	
4	炎症 疾患と免疫のかかわり		☐ 炎症の原因、炎症による病気がどのように起きるのか説明できる。 ☐ 炎症に関わる血管、白血球、化学伝達物質、サイトカインがそれぞれどのような働きをしているのか説明できる。 ☐ 急性炎症と慢性炎症の特徴を理解できる。 ☐ 免疫系のしくみと役割を説明できる。 ☐ 免疫の仕組みを学び、免疫応答の基本的なメカニズムを理解する。アレルギー及び自己免疫疾患の基本的な発生機序について説明できる	
5	感染症 代謝異常		☐ 感染様式や潜伏期間について理解する。 ☐ 感染対策の基本的事項について説明できる。 ☐ 正常の代謝の状態を理解し、異常の状態を説明できる。 ☐ 脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドロームについて説明できる。 ☐ 代謝異常の続発症の一つに動脈硬化があることを説明できる。	
6	感染症 代謝異常		☐ 感染様式や潜伏期間について理解する。 ☐ 感染対策の基本的事項について説明できる。 ☐ 正常の代謝の状態を理解し、異常の状態を説明できる。 ☐ 脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドロームについて説明できる。 ☐ 代謝異常の続発症の一つに動脈硬化があることを説明できる。	
7	腫瘍		☐ 腫瘍の定義と分類について説明できる。 ☐ がんのメカニズム、腫瘍の形態学的特徴、発育・進展のしかたを説明できる。 ☐ がんの主な原因や臨床上的特徴を説明できる。	
8	学習理解度の確認		1～7回で学んだ内容について説明できる	
教科書・参考書・資料				
教科書：渡辺照男 編集 カラーで学べる病理学第5版 人体の構造、人体の機能の教科書・プリント類				
判定基準／割合			履修上の留意点	
満点 70点 平常点 30点(ノート提出課題)			○授業開始前に該当部分の解剖学・生理学の内容復習を行ってください。 ○講義後は整理ノートの記入、教科書「学習課題」へ取り組み次の授業前に提出をすること(ノート提出課題)。 ○教科書を通読し、理解できるように努力しましょう。	

OTⅠ年		通年	講義概要	一般目標
専門基礎分野			・基礎講習と救急員養成講習の内容を3日間で学びます。 ・手当の基本、人工呼吸・胸骨圧迫の方法、AED（自動体外式除細動器）の使用法、気道異物除去の方法などを学びます。 ・急病の手当、止血、三角巾の使い方、けが、傷の手当、骨折の手当、搬送などを学びます。	修了検定に合格し、 「赤十字ベーシックライフサポーター」認定証 「赤十字救急法救急員」認定証 を取得する。
救急救命法				
Ⅰ単位		Ⅰ5回		
作業療法学科：兼子健一，原悠平				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	救急救命法		赤十字救急法救急員養成講習会 1日目 ○オリエンテーション ○救急法について（学科）（実技） ・救急法とは ・手当の基本 ・傷病者への接し方 ・現場での留意点 ○一次救命処置（学科）（実技） ・一次救命処置とは ・一次救命処置の手順 ・心肺蘇生法とは ・気道確保 ・人工呼吸 ・心臓マッサージ ・AEDを用いた除細動 ・気道異物除去 ○包帯法（学科）（実技） ○基礎学科検定 ○実技検定	
2	救急救命法			
3	救急救命法			
4	救急救命法			
5	救急救命法			
6	救急救命法		赤十字救急法救急員養成講習会 2日目 ○急病について（学科） ・心臓発作 ・脳卒中 ・熱中症 ・中毒 ○けがについて（学科） ・応急手当の必要性 ・きず ・骨折 ・各部のけが ・特殊なけが ○きずの手当について（学科）（実技） ・止血（直接圧迫、間接圧迫） ・包帯 三角巾（頭、耳、胸、肩、手） ○骨折の手当について（学科）（実技） ・固定（鎖骨、足首、前腕、下腿、膝、アキレス腱） ○搬送について（学科） ・搬送の必要性 ○救護について（学科） ・災害時の心得 ・災害被害を軽減する国民運動 ・留意事項	
7	救急救命法			
8	救急救命法			
9	救急救命法			
10	救急救命法			
11	救急救命法		赤十字救急法救急員養成講習会 3日目 ○搬送について（実技） ・1人で背負って運ぶ ・肩を貸して歩かせて ・担架 ・応用担架 ○救護（実技） ・総合実技（救護趣味レーション） ○実技の復習 ○学科検定 ○閉講式	
12	救急救命法			
13	救急救命法			
14	救急救命法			
15	救急救命法			
教科書・参考書・資料				
別途指示する。				
判定基準／割合			履修上の留意点	
基礎学科試験25％ 基礎実技試験25％ 陽性学科試験25％ 養成実技試験25％			動きやすい服装（ジャージ等実技可能な服装、スカート不可）、筆記用具 素点は筆記試験の得点で評価する。	

OT1年		通年	講義概要	一般目標
専門基礎分野			リハビリテーションの概略とその考え方を学ぶ。医学、医療の知識について少しずつ説明をする。	①自分がどのような仕事に就くのかを考えながら専門的な知識を修得することに対して興味と関心を持つことができる。 ②専門用語に触れ、その用語の意味を理解する。
リハビリテーション概論Ⅰ				
(※ 前期15回)				
2単位 30回				
理学療法学科：秋山大輔 作業療法学科：原悠平、兼子健一				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	リハビリテーションとは(秋山)		リハビリテーションの定義、職務内容。作業療法士・理学療法士の業務内容。各ライフステージに対するリハビリテーションの業務イメージ。	
2	リハビリテーション倫理(秋山)		リハビリテーションの取り巻く現状、ニーズを知る。リハビリテーション職種に求められる倫理観、哲学。患者に接する際に何を気をつけなければならないのか。	
3	廃用症候群(生活不活発病)(秋山)		廃用症候群とはどういうものなのか。循環器系の廃用症状。呼吸器系の廃用症状とそれ以外の病態も含めて理解する。	
4	チーム医療各職種の紹介(秋山)		チーム医療を構成する職種の紹介。チームアプローチのメリット・デメリット。各関連職種の役割の違い。各職種の養成形態や就業年数。	
5	社会保障制度と医療保険制度、介護保険制度(秋山)		社会保障制度の概要。リハビリテーションが関わる社会保障制度の範囲。リハビリテーションの診療報酬。地域医療構想について。	
6	医療事故、障害者スポーツ指導者について(秋山)		危険予知トレーニングの体験。医療事故・インシデントの定義。リハビリテーションが直面する医療事故について。障害者スポーツ指導者の資格を理解。	
7	全国障がい者スポーツ体験【秋山 兼子】		障害者スポーツ体験	
8	全国障がい者スポーツ体験【秋山 兼子】		障害者スポーツ体験	
9	全国障がい者スポーツ大会の概要【兼子】		全国障害者スポーツ大会の開催目的や実施競技、一般競技とは異なる点などの概要を学ぶとともに、大会がスポーツ未経験や初心者者のスポーツ参加の大きな動機づけになっていることを理解する。□大会開催の目的 □競技規則の原則 □実施競技の概要	
10	機能評価なしには機能訓練を始められない【原】		機能評価の重要性 診断・評価法に求められるもの 診断・評価の進め方 機能障害・能力評価の重要性 障害の帰結予測	
11	機能障害にはどんな評価法があるの?【原】		障害モデル 障害評価の重要性 機能障害の評価方法	
12	能力低下(能力障害)の評価方法を習得しよう【原】		能力低下の評価の意義 日常生活活動の評価方法 歩行障害の評価	
13	環境因子とは?【原】		環境の要素(文化的 社会的 物理的 制度的) 環境と作業遂行	
14	医療・福祉と法律 地域リハビリテーション【原】		医療者に関する規制 医療保険制度 老人保健法 公的年金 身体障害者福祉法 児童福祉法 老人福祉法 介護保険法	
15	地域リハビリテーションと 地域包括ケアシステム【原】		地域リハビリテーション 地域包括ケアシステム	
教科書・参考書・資料				
適宜プリントを配布します。				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点：40点 兼点：60点			グループワークを中心に授業を展開します。活発なディスカッションをお願いします。 1～6回は提出物あり。(36点) 9～15回は授業内でミニテストを4回実施します。(24点)	

OTI 年		通年	講義概要	一般目標
専門基礎分野			リハビリテーションの概略とその考え方を学ぶ。医学、医療の知識について少しずつ説明をする。	自分ができるような仕事に就くのかを考えながら専門的な知識を修得することに対して興味と関心を持つことができる。専門用語に触れ、その用語の意味を理解する。
リハビリテーション概論Ⅰ				
(※ 後期15回)				
2単位 30回				
理学療法学科:秋山大輔 作業療法学科:兼子健一 他、非常勤講師				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
16	医師とは【非常勤講師】		医師の業務内容・働く領域・職務内容・体験を通じて学ぶ。	
17	医師とは【非常勤講師】		医師の業務内容・働く領域・職務内容・体験を通じて学ぶ。	
18	看護師とは【非常勤講師】		看護師の業務内容・働く領域・職務内容・体験を通じて学ぶ。	
19	看護師とは【非常勤講師】		看護師の業務内容・働く領域・職務内容・体験を通じて学ぶ。	
20	言語聴覚士とは【非常勤講師】		言語聴覚士の業務内容・働く領域・職務内容・体験を通じて学ぶ。	
21	言語聴覚士とは【非常勤講師】		言語聴覚士の業務内容・働く領域・職務内容・体験を通じて学ぶ。	
22	社会福祉士とは【非常勤講師】		社会福祉士の業務内容・働く領域・職務内容・体験を通じて学ぶ。	
23	社会福祉士とは【非常勤講師】		社会福祉士の業務内容・働く領域・職務内容・体験を通じて学ぶ。	
24	理学療法士・作業療法士法について【非常勤講師】		弁護士の視点より医療に関する法律・理学療法士作業療法士に関する法律について理解する	
25	障害者スポーツ実践①【兼子・秋山】		君津圏域で実施される障害者スポーツ大会へ参加する	
26	障がい者スポーツ実践②【兼子・秋山】		君津圏域で実施される障害者スポーツ大会へ参加する	
27	医療連携実践①【兼子・秋山】		実際の症例を通じて、理学療法士や作業療法士・他職種がどのように連携し関わるかを理解する	
28	医療連携実践②【兼子・秋山】		実際の症例を通じて、理学療法士や作業療法士・他職種がどのように連携し関わるかを理解する	
29	医療連携実践③【兼子・秋山】		実際の症例を通じて、理学療法士や作業療法士・他職種がどのように連携し関わるかを理解する	
30	医療連携実践④【兼子・秋山】		実際の症例を通じて、理学療法士や作業療法士・他職種がどのように連携し関わるかを理解する	
教科書・参考書・資料				
椿原彰夫(編):PT・OT・ST・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論-要点整理と用語解説 改訂第2版. 診断と治療社, 2011				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:76点 棄点:24点			様々な非常勤講師の先生がいらっしゃいます。積極的な参加を望みます。	

OT1年		通年	講義概要	一般目標
専門分野			作業療法全体を見渡すための科目です。作業療法士に求められる資質や適性、記録や報告など、作業療法を行うにあたり最低限必要とされる知識を学びます。身体機能、精神機能、発達過程、高齢期の各専門領域について導入的に説明します。	④作業療法を実践できるようになるために、作業の意味や作業療法の原理を理解し、積極的に学習していく態度を身につける。 ④作業療法士としての基本事項をふまえるために、必要な教育体系や他職種との関係を理解する。 ④作業療法を実践するために、一連の過程を修得する。
作業療法概論 (※ 前期15回)				
2単位		30回		
作業療法学科:原悠平 作業療法学科教員, 非常勤講師				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	作業の意味		☐ 作業療法の定義 ☐ 医療とリハビリテーションの理念 ☐ 作業療法における「作業」	
2	作業療法の実際①		☐ 障がい者体験を通じて、作業療法とは何かを思考する	
3	作業療法の実際②		☐ 障がい者体験を通じて、作業療法とは何かを思考する	
4	作業療法の実際③		☐ 障がい者体験を通じて、作業療法とは何かを思考する	
5	作業療法の歴史と原理		☐ 作業療法の歴史 ☐ 作業療法の原理	
6	作業療法の理論		☐ 理論を学ぶ目的 ☐ 作業療法の諸理論	
7	作業の分析/リーズニング		☐ 作業分析・リーズニングとは ☐ 作業分析・リーズニングの目的 ☐ 作業分析・リーズニングの手法 ☐ 評価と治療への適用	
8	作業療法の実際④		☐ 事例を通じて作業療法を理解する	
9	作業療法の実際⑤		☐ 事例を通じて作業療法を理解する	
10	作業療法の実際⑥		☐ 作業療法の仕組み ☐ 評価と問題点の抽出	
11	作業療法の実際⑦		☐ 治療プログラムの立案・フォローアップ ☐ 臨床的思考過程と作業療法士の自己活用	
12	作業療法とは何か?① インスタグラム投稿資料作成		☐ シナリオ提示 ☐ グループワーク:チーム結成(チーム目標の明確化、チームメンバーの役割決定) ☐ グループワーク:何を作るか?何を盛り込むか?何を調べるか? 話し合い	
13	作業療法とは何か?② インスタグラム投稿資料作成		☐ 作成作業 チーム目標に向かって力を合わせて作業することを体験する。	
14	作業療法とは何か?③ 作成物発表		☐ 各グループの発表 ☐ ディスカッションを通じてさらに理解を深める。	
15	まとめ 理解度確認		☐ 筆記試験を通じて理解度を確認する。 ☐ 後期の作業療法概論の授業への課題と目的を明らかにする。	
教科書・参考書・資料				
二木淑子, 能登真一(編):標準作業療法学 作業療法学概論 第4版, 医学書院, 2021.				
判定基準/割合			履修上の留意点	
【前期15回分】 平常点:20点 (出席点 10点 提出物 10点) 素点:80点 (筆記試験 80%)			平常点の提出物については、4回目、11回目、14回目が対象になります。	

OTI年		通年	講義概要	一般目標
専門分野			作業療法全体を見渡すための科目です。作業療法士に求められる資質や適性、記録や報告など、作業療法を行うにあたり最低限必要とされる知識を学びます。身体機能、精神機能、発達過程、高齢期の各専門領域について導入的に説明します。	①作業療法を実践できるようになるために、作業の意味や作業療法の原理を理解し、積極的に学習していく態度を身につける。 ②作業療法士としての基本事項をふまえるために、必要な教育体系や他職種との関係を理解する。 ③作業療法を実践するために、一連の過程を修得する。
作業療法概論 (※ 後期15回)				
2単位 30回				
作業療法学科:原悠平 作業療法学科教員, 非常勤講師				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
16	急性期の作業療法過程 【塩田記念病院:沢本先生】【兼子・原】		☐ 作業療法が提供される可能性のある5つの分野において、作業療法士がどのように作業療法を展開しているのかを理解していく ☐ 各分野において提供される作業療法の共通点や相違点に気づき、今後の学習が作業療法の臨床現場に繋がっていくことを認識する	
17	回復期の作業療法過程 【船橋リハ:峯下先生】【兼子・原】			
18	精神機能領域の作業療法過程 【京友会病院:加藤先生】【兼子・原】			
19	発達領域の作業療法過程 【県リハセンター:三屋先生】【兼子・原】			
20	地域領域の作業療法過程 【花くじら:浦部先生】【兼子・原】			
21	まとめ 作業療法の過程【武井】		【作業療法とは何か】のプレゼンテーションの作り方についてオリエンテーションを行う。	
22	作業療法とは? プレゼンテーション作成【原】		☐ 前期作成物および、見学実習・後期講義で学習・理解したことを踏まえて、他者に作業療法を紹介・説明するためのプレゼンテーションを作成する ☐ また、生じた疑問を、文献などで調べたり、教員に確認することで、より知識や理解を深める ☐ グループワークを通して、情報共有・意見交換・プレゼンテーションなど、今後の学習や将来のチーム医療に必要なスキルを経験、修得する	
23	作業療法とは? プレゼンテーション作成【原】			
24	作業療法とは? プレゼンテーション作成【原】			
25	作業療法とは? プレゼンテーション作成【原】			
26	発表会 プレゼンテーションの実施【武井】		教員・学生の前でプレゼンテーションを行う	
27	発表会 プレゼンテーションの実施【武井】		教員・学生の前でプレゼンテーションを行う	
28	作業療法の実践過程①【原】		☐ 評価と問題点の抽出 ☐ 作業療法の専門性/臨床的思考過程と作業療法士の自己活用	
29	作業療法の実践過程②【原】		☐ 臨床的思考過程と作業療法士の自己活用 ☐ 作業分析と評価の結びつき	
30	作業療法の実践過程③【原】		☐ 事例を通じて作業療法を理解する ☐ SOAPに基づいたカルテの書き方	
教科書・参考書・資料				
二木淑子, 能登真一(編):標準作業療法学 作業療法学概論 第4版, 医学書院, 2021				
判定基準/割合			履修上の留意点	
【後期15回】 平常点:100点 (課題提出 20点,出席点80点)				

OTI年		通年	講義概要	一般目標
専門分野			本講義では、多様な作業活動を体験を通じて、作業療法における「作業」が治療法として成り立つ要件およびその根拠を理解し、その治療的意義や実践的な活用方法を考察する。体験を通じて、各作業の工程・道具の使用方法・適応症例・心理的配慮・安全管理などの作業の特徴について学び、対象者に応じた作業を提案できる能力を養う。	① 各作業に必要な道具の名称・用途・使い方を習得できる。 ② 各作業の特徴を説明することができる。 ③ 各作業の目的や適応を理解し、治療法としての有効性を説明できる。 ④ 心理的配慮を理解し、適切な作業活動を選択できる。
基礎作業学 (※ 前期15回)				
2単位		30回		
作業療法学科：◎限部智之				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	オリエンテーション 作業療法における『作業』とは 【限部】		作業療法における『作業』の定義が理解し、説明できる。 『作業』の治療的意義を理解し、説明できる。	
2	作業療法の体験(くす玉作り①) 【限部】		身体機能・心理機能・新たな役割などの目的を説明することができる。 色・大きさ・折り方の違いによる作業分析の視点を理解し、作業負荷の変化を体験できる。	
3	作業療法の体験(くす玉作り②) 【限部】		くす玉作りから作業療法を考え、説明することができる。	
4	ワークシート:作業・物づくり演習 【限部】		くす玉作りから作業の多面的な特性と治療的応用について考察し、ワークシートを完成することができる。	
5	貼り絵① 【限部】		用途に合わせて適切なデザインを選択し、作成することができる。	
6	貼り絵② 【限部】		素材の違いによる作業分析の視点を理解し、作業負荷の変化を体験できる。	
7	貼り絵③ 【限部】		貼り絵から作業の多面的な特性と治療的応用について考察し、ワークシートを完成することができる。	
8	タイルモザイク① 【限部】		タイルモザイクの工程を理解し、必要な道具の名称・用途・使い方を習得することができる。 図案に基づいてタイルを貼ることが体験できる。	
9	タイルモザイク② 【限部】		目地材の固さを理解し、作品に流しこむ体験ができる。	
10	タイルモザイク③ 【限部】		タイルモザイクから作業の多面的な特性と治療的応用について考察し、ワークシートを完成することができる。	
11	革細工① 【限部】		革細工の工程を理解し、必要な道具の名称・用途・使い方を習得することができる。 図案に基づいて、革を裁断することができる。	
12	革細工② 【限部】		スタンピング法およびカービング法、モデリング法を理解し、体験することができる。	
13	革細工③ 【限部】		革の染色技法を理解し、体験することができる。	
14	革細工④ 【限部】		多様なレーシング技法を理解し、体験することができる。	
15	革細工⑤ 【限部】		革細工から作業の多面的な特性と治療的応用について考察し、ワークシートを完成することができる。	
教科書・参考書・資料				
教科書:標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第4版 医学書院 参考資料:つくる・あそぶを治療にいかす作業活動マニュアル 第2版 医歯薬出版株式会社 基礎作業学実習ガイド 協同医書出版社 その他:各作業でプリントにて配布します。				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:50点 ・課題レポート(ワークシート) ・作品提出 素点:50点 筆記試験			作業しやすく、汚れても良い服装を着用して下さい。 各作業にて道具を使用する際は十分に注意し、安全管理を徹底しましょう。 後の教室内の掃除、準備や片付けは全員で協力して実施してください。 作業内容によって材料費として、集金することがあります。	

OT1年 通年		講義概要	一般目標
専門分野		本講義では、多様な作業活動を体験を通じて、作業療法における「作業」が治療法として成り立つ要件およびその根拠を理解し、その治療的意義や実践的な活用方法を考察する。体験を通じて、各作業の工程・道具の使用方法・適応症例・心理的配慮・安全管理などの作業の特徴について学び、対象者に応じた作業を提案できる能力を養う。	① 各作業に必要な道具の名称・用途・使い方を習得できる。 ② 各作業の特徴を説明することができる。 ③ 各作業の目的や適応を理解し、治療法としての有効性を説明できる。 ④ 心理的配慮を理解し、適切な作業活動を選択できる。
基礎作業学 (※ 後期15回)			
2単位	30回		
作業療法学科：隈部智之 非常勤：湯野川 恵			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
16	木工① 【隈部】	木工の工程を理解し、必要な道具の名称・用途・使い方を習得することができる。 図案に基づいて、木材を切ることが体験できる。	
17	木工② 【隈部】	サンディングにて木材の表面を滑らかに整えることが体験できる。	
18	木工③ 【隈部】	釘打ちを行い、図案に基づいて君立てることが体験できる。	
19	木工④ 【隈部】	木工から作業の多面的な特性と治療的応用について考察し、ワークシートを完成することができる。	
20	陶芸① 【湯野川】	陶芸の工程を理解し、必要な道具の名称・用途・使い方を習得することができる。 手びねり（荒練りと菊練り）の違いについて説明することができる。	
21	陶芸② 【湯野川】	手びねりによる成形方法（ひねり出し）を理解し、体験することができる。	
22	陶芸③ 【湯野川】	手びねりによる成形方法（玉作り）を理解し、体験することができる。	
23	陶芸④ 【湯野川】	手びねりによる成形方法（紐作り）を理解し、体験することができる。	
24	陶芸⑤ 【湯野川】	手びねりによる成形方法（板作り）を理解し、体験することができる。	
25	陶芸⑥ 【湯野川】	高台の形、作り方による分類（削り高台、付け高台）ができ、体験することができる。	
26	陶芸⑦ 【湯野川】	電動ろくろによる成形方法を理解し、体験することができる。	
27	陶芸⑧ 【湯野川】	絵付け、釉薬の均等な掛け方、窯への適切な配置、焼成の管理を体験することができる。	
28	陶芸⑨ 【湯野川】	自身の作品や他者の作品について、良い点を伝えることができる。	
29	まとめ	講義で体験・理解した内容を表出し、他者と討論することができる。	
30	理解度の確認	筆記試験を通じて理解度を確認する。	
教科書・参考書・資料			
教科書：標準作業療法学 専門分野 基礎作業学 第4版 医学書院 参考資料：つくる・あそぶを治療にいかす作業活動マニュアル 第2版 医歯薬出版株式会社 基礎作業学実習ガイド 協同医書出版社 その他：各作業でプリントにて配布します。			
判定基準／割合		履修上の留意点	
平常点：50点 ・課題レポート（ワークシート） ・作品提出 棄点：50点 筆記試験		作業しやすく、汚れても良い服装を着用して下さい。 各作業にて道具を使用する際は十分に注意し、安全管理を徹底しましょう。 後の教室内の掃除、準備や片付けは全員で協力して実施してください。 作業内容によって材料費として、集金することがあります。	

OT1年		後期	講義概要	一般目標
専門分野			地域リハビリテーションの理念・概要について学び、作業療法士としての役割を理解する。	① 地域リハビリテーションの定義を説明できる ② 障害者が地域で生活するために必要な支援について説明できる ③ 地域で働く作業療法士の役割が説明できる
地域リハビリテーション				
I 単位	8回			
作業療法学科：限部智之				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	障害者が地域で生活するとは①【限部】		動画を通じて障害者の地域生活を知ることができる。	
2	障害者が地域で生活するとは②【限部】		動画で理解した内容を表出し、他者との討論することができる。 動画の内容を整理し、障害者が地域で生活するために必要な支援を説明できる。	
3	地域で働く作業療法士【限部】		地域リハビリテーションの定義について知ることができる。 地域で働く作業療法士の割合、就職先について知ることができる。 地域で働くために必要な知識・技術を表出し、他者と討論することができる。	
4	地域リハビリテーションを支える制度 日本の人口動態と予防医学【限部】		地域リハビリテーションを支えている制度や施策を知ることができる。 少子高齢化とリハビリテーションの関係について知ることができる。 介護予防体操を体験することができる。	
5	地域作業療法の実践①【原】		具体的な症例を通じて、地域リハビリテーションの支援内容を知ることができる。 個別支援と地域支援の違いを知ることができる。	
6	地域作業療法の実践②【原】		具体的な症例を通じて、地域リハビリテーションの支援内容を知ることができる。 個別支援と地域支援の違いを知ることができる。	
7	地域作業療法の実践③【原】		具体的な症例を通じて、地域リハビリテーションの支援内容を知ることができる。 個別支援と地域支援の違いを知ることができる。	
8	理解度の確認		筆記試験を通じて理解度を確認する。	
教科書・参考書・資料				
参考書：標準作業療法学 専門分野 地域作業療法学 第4版 医学書院				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点：30点 ・課題レポート 素点：70点 筆記試験			本講義は講義中心で進行しますが、グループディスカッションでは積極的に参加し、意見交換を通じて理解を深めてください。	

OTI年		通年	講義概要	一般目標
専門分野			作業療法士が専門職として就労支援に関わる時に必要な知識を学ぶ。	1. 職業リハビリテーションにおける作業療法士の役割について理解する。 2. 職業リハビリテーションにおける作業療法士の過程を理解する。 3. 職業リハビリテーション関連施設の機能と役割を理解する。
職業リハビリテーション				
I単位	8回			
作業療法学科:兼子健一				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	キャリアとは?【兼子】		キャリアシミュレーションプログラム 職業生活のイメージを持つ	
2	キャリアについて キャリア理論①【兼子】		キャリアとは? キャリアと職業 作業療法士がキャリアの視点を持つ必要性 キャリアの考え方 キャリア理論① 特性因子論(パーソンズの理論) 職業リハビリとの関連	
3	キャリア理論①【兼子】		キャリア理論① 特性因子論(ホルランドの6角形モデル) 職業興味検査体験 職業リハビリとの関連	
4	キャリア理論② キャリア理論③【兼子】		キャリア理論② キャリア発達理論(スーパの理論) 職業リハビリとの関連 キャリア理論③ キャリア構築理論(サビカスの理論) 価値観診断 職業リハビリとの関連	
5	キャリア理論④【原】		キャリア理論④ 社会的学習理論(バンデューラの理論) 職業リハビリとの関連 計画された偶発性理論(クランボルツの理論) 職業リハビリとの関連	
6	職業関連の評価【兼子】		OHBYカード VRTカード VPI職業興味検査	
7	職業関連の評価【兼子】		GATB 職業情報提供サイト(日本版O-NET)	
8	まとめ(定期試験)		試験を通して理解度を確認する	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
教科書・参考書・資料				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:小テスト・レポート 30点 素 点:定期テスト70点			『働く』とはどのような意味があるのでしょうか。就労支援の作業療法について学んでいきましょう。	

OTI年		通年	講義概要	一般目標
専門分野			様々な分野への見学・体験を通じて、作業療法の幅広さや専門性を理解する。各施設における特徴、作業療法士の役割、他職種との連携、地域の取り組み等の理解を深める。 また、対象者との交流を通し、コミュニケーション技能を身につける。 1.5時間×15回＝45時間	①様々な分野への見学・体験を通じ、作業療法の幅広さや専門性を理解する。 ②各施設の概要や作業療法士の役割を理解する。 ③対象者との交流を通し、コミュニケーション技能を身につける。 ④作業療法士の役割や他職種との連携、地域の取り組み等についての理解する。
見学実習 (前期)				
I単位				
作業療法学科:兼子健一,原悠平 武井亜由美				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	見学実習 オリエンテーション		見学実習の説明	
2	どんぐりの郷 オリエンテーション 【鎌田】		どんぐりの郷 見学実習前オリエンテーション	
3	どんぐりの郷 見学①		障害者支援施設(福祉領域)における作業療法士の仕事を見学する	
4	どんぐりの郷 見学②		障害者支援施設(福祉領域)における作業療法士の仕事を見学する	
5	千葉リハビリテーションセンター 見学①		リハビリテーションセンターにおける作業療法士の仕事を見学する	
6	千葉リハビリテーションセンター 見学②		リハビリテーションセンターにおける作業療法士の仕事を見学する	
7	夏期見学実習オリエンテーション 【発達支援つむぎ】		発達支援つむぎ 見学実習前オリエンテーション	
8	夏期見学実習オリエンテーション 【あすなろクリニック】		あすなろクリニック 見学実習前オリエンテーション	
9	OSCE Start		夏期見学実習オリエンテーション 実技練習(標準予防策、コミュニケーション)	
10	OSCE Start		夏期見学実習オリエンテーション 実技確認(標準予防策、コミュニケーション)	
11	あすなろクリニック 見学①		地域作業療法(整形外科疾患)の臨床現場を見学する	
12	あすなろクリニック 見学②		地域作業療法(整形外科疾患)の臨床現場を見学する	
13	発達支援つむぎ 見学①		発達障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
14	発達支援つむぎ 見学②		発達障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
15	発達支援つむぎ 見学③		発達障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
教科書・参考書・資料				
PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 才藤栄一監修 金原出版				
判定基準／割合			履修上の留意点	
積極的参加姿勢:50% 提出物:50%			見学実習の参加日数および提出物で成績判定を行います。 欠席はせずに見学実習に出席するようにしてください。	

OTI年		通年	講義概要	一般目標
専門分野			様々な分野への見学・体験を通じて、作業療法の幅広さや専門性を理解する。各施設における特徴、作業療法士の役割、他職種との連携、地域の取り組み等の理解を深める。 また、対象者との交流を通し、コミュニケーション技能を身につける。 1.5時間×15回＝45時間	①様々な分野への見学・体験を通じ、作業療法の幅広さや専門性を理解する。 ②各施設の概要や作業療法士の役割を理解する。 ③対象者との交流を通し、コミュニケーション技能を身につける。 ④作業療法士の役割や他職種との連携、地域の取り組み等についての理解する。
見学実習				
(後期)				
I単位				
作業療法学科：兼子健一，原悠平 武井亜由美				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
16	袖ヶ浦さつき台or君津中央(身体) 見学①		身体障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
17	袖ヶ浦さつき台or君津中央(身体) 見学②		身体障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
18	袖ヶ浦さつき台or君津中央(身体) 見学③		身体障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
19	袖ヶ浦さつき台or君津中央(身体) 見学④		身体障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
20	袖ヶ浦さつき台or君津中央(身体) 見学⑤		身体障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
21	袖ヶ浦さつき台(精神) 見学①		精神障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
22	袖ヶ浦さつき台(精神) 見学②		精神障害領域の作業療法の臨床現場を見学する	
23	実習報告会資料作成		報告会資料作成	
24	実習報告会資料作成		報告会資料作成	
25	実習報告会		見学実習報告会 経験をシェアする	
26	実習報告会		前半まとめ	
27	OSCE見学		OSCEゼロ見学 2年生に向けて実技試験場面を見学オリエンテーション・見学	
28	実習報告会		評価実習報告会に参加	
29	実習報告会		地域リハ実習報告会に参加	
30	2年生に向けて		1年生の成果、そして2年生に向けての課題を確認する《技能面》	
教科書・参考書・資料				
PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 才藤栄一監修 金原出版				
判定基準／割合			履修上の留意点	
積極的参加姿勢:50% 提出物:50%			見学実習の参加日数および提出物で成績判定を行います。 欠席はせずに見学実習に出席するようにしてください。	